

講義年月日	2002年5月8日 (水)
講演者	加藤 好郎氏 (慶應義塾大学三田メディアセンター事務長)
テーマ	大学図書館が今抱えている問題とその解決策
講義内容	<p>1. 今、大学図書館が困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算削減、書庫の狭隘化、人手不足等の問題～大学全体の事業計画を視野に 研究機関の不足 (Z39.50プロトコルやMARC等)～慶應義塾はRLGと契約 書誌データの整備～未処理本7万冊 (3年分)を1年で 集中処理機構設置 (収書 カタログ 提供) 収書 (専任職員 アウトソーシング)～人事課との交渉、人件費削減 カタログ (専任職員 20名 5名)～専任職員がアウトソーシングの指導に提供 (カタログ15名はパブリック・サービス充実のため異動) <p>2. 今、大学図書館が取り組まなければならないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育支援から研究支援への事業展開 図書館員の専門職制の確立～アウトソーシングの導入により可能に アウトソーシングへの取り組み～誰でもできる仕事はアウトソーシングに (専任 :30名、嘱託 :10名、アルバイト:24名、業務委託 :60名、合計 124名) 電子図書館の構築～研究者の電子ジャーナルの利用 予算の効率的運用 (他部署の理解を求めていること) 電子情報を図書館予算から教員の研究費で 予算繰越 <p>3. 今、すぐにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館員の養成・育成 <ul style="list-style-type: none"> 国際交流 アーキビスト養成 書誌学にアプローチできる図書館員育成 主題専門家の育成 デジタル・リサーチ・ライブラリアンの養成 情報リテラシー教育 インターンの受け入れ 従来型の研修 書誌データ整備 グローバル・リソース・シェアリング 自己点検・自己評価・第三者機関の評価の実施 研究機関のコンソーシアムの立ち上げ 著作権問題 アウトソーシングへの取り組み 図書支出と資料費支出の組み替え <p>4. 今、すぐにはできないが長中期計画の中で必ずしなければならないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 新図書館の建設 予算の確保と効率の良い運用 図書館も収入を上げる組織、情報は金で買う 利用者の切り分け 図書館員の長期養成・育成計画 <p>5. おわりに</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の使命の再認識とコンセプトの再構築 グローバル・リソース・シェアリング (LL 分担収集 DDS)等、館種を超えて
用語	<ul style="list-style-type: none"> Z39.50 :国際規格の情報検索プロトコル。 RLG :Research Libraries Group RLINなどで有名な機関。 DDS :ドキュメントデリバリー・サービス。
感想	<p>図書館使命を 教育支援と 研究支援とされ、研究支援のできる図書館の肝が専門職員にあるとされた。専門職制を可能にしたアウトソーシング導入、その他図書館経営のインデックスを三田メディアセンターを具体事例に与えて頂いた。初心者を対象に募集された分科会であるが、上記の講義内容は役職者が聞くにふさわしい内容であった。広報していくことが、この分科会に参加できた者の努めであろうと考える。</p>
配付物	「大学図書館が今抱えている問題とその解決策」